

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は10月31日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「牛乳、ヨーグルトともに好調～継続的な消費喚起を～」

・10/14週の牛乳類の販売個数は、牛乳、成分調整牛乳、加工乳の3品目で前年水準を上回り、牛乳類トータルでも前年越えとなった。成分調整牛乳が前年水準を上回るのは2022年10/17週以来、約2年ぶりとなる。牛乳の前年越えは2週ぶりだが、5%越えとなるのは今年初めて。乳価改定前の2022年同週と比較しても101.8%と上回っている。気温が平年より高かったことに加え、3連休前で生鮮品の買い控えが生じた前週(10/7週)の反動により購買が増えたと推察される。昨年までと3連休のタイミングが1週ズレたこともあり、販売個数の推移は例年と違う動きを見せているなか、今後年末に向けてどのように変化するか注視が必要だ。

・はっ酵乳は、3品目すべてのカテゴリーが前年水準を上回った。トータルが前年越えとなるのは3週連続だが、3品目いずれも前年越えとなるのは約22カ月ぶりとなる。内訳を見ると、ドリンクタイプは大手メーカーの主力製品を中心に消費が伸び2週連続の前年越え。特に10/14週は、ここ1年で最も多い販売個数となった。

・家庭用バターは、価格が横ばいで推移したものの販売個数は前年水準を下回った。前年割れは7週連続となる。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓↓

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>

「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009gbz.html>

10月2日に「改訂版・戦略ビジョン」を策定・公表しました
資料ダウンロードは下記URLより
<https://www.j-milk.jp/news/strategicvision202410.html>

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(10/14週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：105.0%、成分調整牛乳：102.2%、加工乳：105.6%、乳飲料：95.7%。

牛乳類トータルでは同103.4%

※参考：2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は96.4%。

・販売単価は、牛乳：224.8円、成分調整牛乳205.8円、加工乳：217.0円、乳飲料：172.6円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	8.26-	9.2-	9.9-	9.16-	9.23-	9.30-	10.7-	10.14-	24.10.14-29.10.24 価格差	24.10.14-23.3.20 価格差	24.10.14-23.7.24 価格差
		販売個数	39,569	38,940	38,625	38,571	38,310	37,746	35,692	37,830		
トータル	販売個数前年比	96.4	98.4	98.4	97.3	97.6	102.1	95.2	103.4	32.5	17.6	15.2
	販売単価	216.9	216.0	216.4	216.3	216.2	215.7	216.3	215.7			
牛乳	販売個数	30,464	29,933	29,636	29,636	29,344	28,918	27,409	29,011			
	販売個数前年比	97.9	100.3	100.0	99.1	99.5	103.7	97.0	105.0	34.5	18.2	17.0
成分調整牛乳	販売個数	2,372	2,310	2,321	2,290	2,280	2,302	2,200	2,349			
	販売個数前年比	91.5	90.0	92.8	92.2	88.2	98.0	90.0	102.2	32.1	17.2	12.6
加工乳	販売個数	896	835	844	826	852	865	783	856			
	販売個数前年比	105.2	100.7	101.6	99.1	99.1	107.6	92.2	105.6	26.1	15.8	5.2
乳飲料	販売個数	5,836	5,862	5,824	5,818	5,834	5,661	5,301	5,614			
	販売個数前年比	90.0	92.3	92.4	90.9	92.8	95.0	89.5	95.7	22.9	13.1	8.4
	販売単価	173.2	173.0	172.6	172.9	172.8	172.7	173.8	172.6			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



